

画像処理による 自動化システム構築技術

《使用画像処理装置：キーエンス社製XG-X2000》

画像データを検査に使うための
画像処理はどうする？ **▶▶ 学べます**

講座

しっかり学べる
3日間コース

日時	令和5年 10月18日(水)～20日(金) 9:30～16:30		
会場	ポリテクセンター米子（米子市古豊千520）		
講師	株式会社チェックデバイス 増田 修二 氏（ますだ しゅうじ） [講師プロフィール] - 平成21年に個人事業主として開業。PLCに関する知識を反映した検査装置製作や画像センサ設定サポート作業に従事。 - 平成27年11月に株式会社チェックデバイスを設立し、代表取締役役に就任。ポリテクセンター関西ではキーエンス社製PLC、三菱製PLCに係る多くの能力開発セミナーの外部講師として現在も活躍中。		
目的	生産現場における検査自動化のための画像処理技術の概要を習得するとともに、市販の画像処理装置を用いて、外観検査（有無・寸法・位置測定）を行うための技術を習得します。 ※キーエンス社製XG-X2000の機能を主体とした実習で、導入済みの企業は精度アップ、機能アップ、活用範囲拡大が図れます。		
養成する能力	生産性の向上を実現できる能力		
締切り	令和5年 9月25日(月) 15時まで	定員	10名 （先着順）
受講料	10,000円/人		
持ち物	筆記用具		
申込み手続き	申込みは[とっとり電子申請サービス]（以下のURL）からお願いします。 https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=9068 入力を終了し送信すると受付メールが自動配信されますが、この時点では確定しておりません。申込を確認し、受付を完了しましたら、申込確定のメールが配信されます。（定員オーバー等でお受けできない場合もメール連絡されます。） ※後日、ポリテクセンターが発行する請求書等を送付しますので期限までに入金してください。		



講座概要

1. 画像処理システムの概要
2. 画像処理装置の設置・撮像実習
3. 代表的な計測ユニットを使った画像処理実習
 - (1) 「エリア」ユニット
 - (2) 「プロブ」ユニット
 - (3) 「パターンサーチ」ユニット
 - (4) 「シェーブトラックス」ユニット
4. 位置補正を使った計測ユニットの連携処理実習
5. パソコン用ソフト「XG-X VisionEditor」を活用した画像処理実習
 - (1) 「エッジ位置」ユニット
 - (2) 「エッジ角度」ユニット
6. 実践的な設定作成・運用実習
 - (1) 「トレンドエッジ位置」ユニットの活用実習
 - (2) 「出力」ユニットの活用実習

<ポリテクセンター米子会場案内>

